

MCPC 技術委員会 ナノコン応用推進WG活動のご紹介

MCPC 技術委員会
ナノコン応用推進WG 副主査
濱田 圭
(富士通クライアントコンピューティング(株))

Bluetooth接続検証 (3回/年)



事例集(活用事例、M2M)



MCPC award



テキスト類 →



イノベーション チャレンジ



セキュリティセミナー

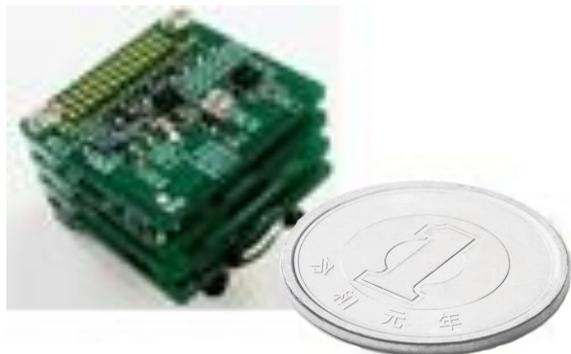


アイディアソン

東京大学桜井研究室と連携し、

- ナノコン(超小型、バッテリー駆動、モジュール化され容易に取り扱えるデバイス)を活用したサービス・ビジネスの開発
- ナノコン実証実験の推進

ナノコンの代表例)
Leafonyプラットフォーム



1円玉と同等サイズ

小型軽量

電池駆動

取扱容易

■ WGメンバー(20社)



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

NTT docomo

KDDI

SoftBank

TOSHIBA

FUJITSU

TEC
東芝テック株式会社

NEC

SHARP

KYOCERA

TABrain

*FARMSHIP

BOOLEJAPAN

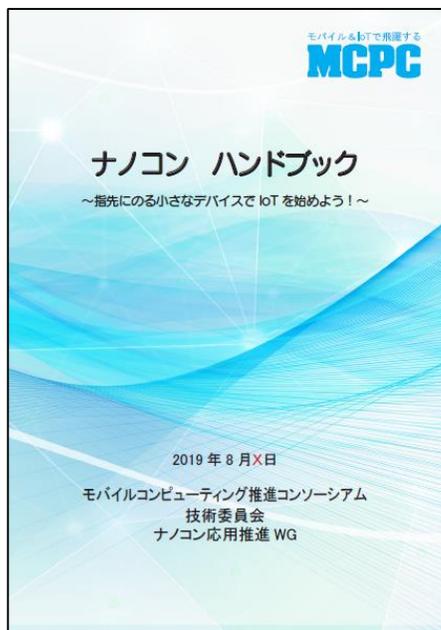
Leafony systems

■ セミナー開催

講師：東京大学 名誉教授 トリリオンノード研究会代表 桜井 貴康様 他

■ ナノコン ハンドブックの発行（Leafony活用事例など）

■ 東大と連携してナノコン応用ハッカソンを開催



タイトル	モノのIoT化からデータ計測を簡単化する超小型マルチセンサボード SenStick	団体名	九州大学 荒川研究室
用途	SenStickは、8種類の代表的なセンサとBLE、リチャージابلバッテリー、フラッシュメモリを搭載した超小型マルチセンサボードである。身の回りのモノにセンサと通信機能がついたらどんなことができるのだろうかというPoCも誰もが簡単に試せるプラットフォームとして開発した。活用事例として、杖に装着して高齢者の歩行診断、体に複数装着して筋力の支援、竹刀に装着して剣道のセンシング、頭部に装着して観光時の興味センシングなどがある。		
概要・システム構成図			
ハードウェア構成	CPUコア：Nordic nRF52 (Cortex-M4F) 通信I/F：BLE センサー：9軸、温度、気圧、照度、UV 電源：LiPo その他：データ記録用Flash (32Mb) 搭載		
備考	SenStickは、総務省SCOPE若手ICT研究者等育成研究費の支援によって開発されたものである。研究期間終了後、オープンソースとして、回路図やアプリケーションが公開されており、2017年には東京の企業から研究者向けに限定販売された。		



ナノコン応用コンテスト開催のご案内

募集内容：

ナノコンの代表例である**Leafonyを使ったシステムを創作**し、その技術とアイデアを競います。応募作品はLeafonyの使用を必須とします。

募集期間：2020年7月1日(水)～2020年10月30日(金)

応募用紙での応募締め切り：2020年9月30日(水)

作品(説明資料、動画)の応募締め切り：2020年10月30日(金)

応募用紙はMCPCホームページ(https://www.mcpc-jp.org/pdf/20200703_NANOCON.pdf)に公開しています。

共催：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC) 技術委員会 ナノコン応用推進WG、
東京大学桜井研究室

協賛：トリオンノード研究会

応募資格：次の2つの条件を満足することとします。

- ① Leafonyをご自身でご準備頂くこと。
- ② 18歳以上の個人(グループを含む)、または、大学、高専、専門学校、自治体、企業などに所属する個人(グループ含む)であること。

表彰：

最優秀賞(1作品)：表彰と副賞(10万円相当)

優秀賞(最大3作品)：表彰と副賞(3万円相当)

詳細は、トリオンノード研究会HPのお知らせをごらんください